

事業評価シート（平成25年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	消防署出張所等整備事業		
事業担当	消防本部 消防総務課		
事業種類	●ハード ○ソフト		
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'01	①〈安全〉災害に強い安全なまちづくりを進める	
	'03	3 迅速かつ的確な消防・水防と救急・救助、救援の体制を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民、職員	事業期間	平成25年度 ~ 平成28年度
委託、協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働: 】		
	目的・目標		事業の概要
市民の生命・財産を様々な災害から守るための消防力が充実しています。		消防活動拠点の充実のため、老朽化の著しい消防署出張所等を整備します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	消防署出張所等解体・整備進捗率(神田)(平成25年度から平成28年度まで)			単位	%
	説明・算定式	平成28年度の建設完了を100%とした進捗率。H25:地質調査・基本設計20%、H26:実施設計20%、H27:解体・建設30%、H28:建設30%				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標			10	40	
	実績			20		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	①: 予定どおり					
	遅れている理由					
平成25年度の主な取組と成果						
神田出張所の地質調査を予定どおり実施しました。また、基本設計は庁内での自主設計としたため、前倒しで完了しました。						
平成25年度の検証結果	A: 成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	消防活動の拠点の充実のため、老朽化の著しい消防庁舎を順次整備する必要があります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	老朽化した消防庁舎を整備することにより、地震災害等の災害対応が充実します。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	老朽化した消防庁舎を整備することにより、地震災害等による庁舎への被害を防ぐ事が可能となります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	消防庁舎を整備するにあたり、将来性及び地域性を考慮する必要があります。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 消防庁舎を整備するにあたり、先進事例を調査研究し職員の意見も積極的に取り入れる必要があります。 さらに、太陽光発電設備や省エネルギー設備等を取り入れ環境に配慮した庁舎の建設に取り組む必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 予算額
事業内容		建設:大野	建設:大野	地質調査:神田	実施設計:神田
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	105,000	217,000	0	10,000
	その他 特財	13,706	4,000	0	0
	一般財源	24,394	92,932	985	4,500
事業費 (A)		143,100	313,932	985	14,500
執行率 (%)		91.67	99.48	78.80	
内訳	職員 (人)	0.65	1.00	1.00	0.80
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
	人件費 (B)	5,268	8,015	7,948	6,251
フルコスト (A+B)		148,368	321,947	8,933	20,751

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成27年度の取組方針 神田出張所建て替えのため解体工事を行うとともに、環境に配慮した消防庁舎の建設を進めます。
課長コメント 老朽化した神田出張所の設計を実施し、付近住民への説明を行って理解を得られるように事業を進めます。 大震災時等にも消防力を維持できるよう、耐震性が危惧される老朽化した消防庁舎を計画的に整備していきます。